

和紙をもっと身近に感じてもらいたい

和紙商 小野商店 大阪府



和紙の特長を知っているからできる企画・開発

—小野商店について教えてください

戦後すぐに、障子やふすまなど家庭用に使われる紙の卸売業として創業したのがはじまりです。

現在では和紙に特化して、卸販売のほか商品の企画・開発のお手伝いなども行っています。

和紙とひとことで言っても全国各地に産地があり、それぞれに異なった性質をもっています。それらの特長を活かした商品開発ができるのが強みです。



もっと多くの人に和紙の使い方を提案したい



—個人向けのオリジナル商品開発もされてますよね？

もともと卸売をしていたのもあって、これまでは業者さんを相手にした100枚200枚といった大量ロットの販売がメインでした。そうなると、徐々に実際の利用者が使っている姿が見えなくなってくるんですよ。そんななか、もっと個人に向けて和紙の使い方を提案できないだろうか…と考えるようになってきたんです。

商材の中から1枚単位で購入できるモノをピックアップしたり、1から開発したりして、ラインナップを少しずつ増やしていっ

たんです。それがJimdoで作った、現在のホームページ(finepaper.jp)です。

利用者の顔を考えながら企画した商品は…

一人向けの商品を集めたホームページをつくって効果はありましたか？

お問い合わせも増えてきましたし、注文も少しずつですが入っています。ホームページでは個人消費者向けに商品を掲載しているんですが、その商品を使って少し手を入れて販売したいというお店や業者さんからの引き合いが入ってきて、最初は意外でしたね。具体的には、企業のノベルティとして「和紙の上製本ノートを使いたい」というお話もいただいているんです。利用者の顔を考えながら企画した商品だから、こんな拡がりも出てくるんでしょうね。



これからも提案の場でありたい



—これからホームページをどのように活用していきたいですか？

卸販売の方で引き合いがあったけど、いろんな事情で、うまく仕事にならなかったって話があるんですよ。なかには「小ロットで販売する個人向け商品に向いているんじゃないか？」と気になる素材も多くあるので、それを活かした商品の提案をできたらイイな…と考えています。

これからはfinepaper.jpは、和紙を身近に感じてもらうための提案の場でありたいと思います。

直感的で制作しやすいので、ぜひはじめてみて！

—最後に、これから「はじめてWEB(Jimdo)」をはじめる方にメッセージを

ホームページを作るのは手間や時間がかかるというイメージがあると思うのですが、Jimdoは直感的で制作しやすい仕組みになっているので、情報発信のツールとして、ぜひはじめてみて欲しいですね。初心者でも取り組みやすいですよ。

本コンテンツは、掲載時点の内容となります。「みんなのビジネスオンライン」は「はじめてWEB」にお読み替えいただけますようお願いいたします。



和紙商 小野商店

住所: 大阪市生野区生野西1-5-29

TEL: 06-6716-0481

ホームページ: <http://www.finepaper.jp/>

